



みんなで子育て

西濃県務所 振興防災課 振興防災係
家庭教育推進専門職 酒井
電話:0584-73-1111 <内線212>
E-mail: sakai-toshinori@pref.gifu.lg.jp

家庭教育についての
相談はこちらまで。
お待ちしております。



家庭教育応援通信
バックナンバー

垂井町立表佐小学校 家庭教育学級
「親子料理教室」 体験活動参加型
令和8年6月23日(火)
9:30~13:00
6年生親子対象

食から学ぶ大切なこと

～親子で学ぶ食育の時間～

最初に親子で食育改善協議会の方の話を聞き、家族で食事の会話を大切にすることや、命への感謝について学びました。続いて、エプロンシアターを通して、栄養や4つのお皿(主食・主菜・副菜・汁物)、唾液体操について理解を深めました。

子どもたちが調理準備をしている間には、管理栄養士から、岐阜県では野菜の摂取量が不足していることや、健康のために野菜を食べることの大切さについて話がありました。



学校×保健センター×食生活改善協議会

なぜ、皮から餃子を作るのか？

皮から餃子を作るのは、普段の家庭でもなかなか出来ないこと。手間やめんどろと感じてしまう作業でも親子で行えば コミュニケーションがとれる食育になる。料理を通して子どもたちに成功体験を増やし、自己肯定感を上げてもらいたい。
(企画した表佐小学校PTAの願い)



餃子づくりに込められた学び

皮から作る餃子づくりには、切る・こねる・伸ばす・包むなど、さまざまな工程があります。その一つ一つの体験が子どもたちの力となり、同時に親子の大切なコミュニケーションの時間につながっています。



餃子の具の玉ねぎ、キャベツはみじん切りにします。みじん切りの包丁の使い方を教えてもらって、上手に細かくしました。

干しいたけ、ニラと一緒に固く絞って、豚ひき肉と調味料を合わせ手でよく練り混ぜます。



麺棒で伸ばします。

ボウルに入れた強力粉に、砂糖と塩を溶かしたぬるま湯を加えて練ります。



手作りの皮はよく伸びます。具たくさんの餃子も作れます。



餃子の他に、お米を研いで炊飯器でごはんを炊きました。さらに、しいたけのもどし汁をつかってわかめ、もやし、ねぎ、花麩の中華スープも作りました。



焼
け
お
い
し
そ
う
に
ま
し
た
!



大垣市立江並中学校 家庭教育学級 江並おしゃべり交流会

令和8年6月19日(金)
10:30~12:30
対象: 申し込み保護者



心が軽くなるひととき♪ゆったり語り合う交流会

家庭教育学級の開講式を兼ねた長時間の交流会を初めて開催しました。はじめに、しりとり形式の自己紹介からスタート。緊張がほぐれた後、「リラックスタイム」をテーマに交流しました。保護者の皆さんからは、「家族が寝た後にドラマを見たり、本を読んだり、おやつを楽しんだりする自分だけの時間が大切」といった声が聞かれました。その後も和やかな雰囲気話題が広がり、思いを言葉にする心地よさを実感する時間となりました。次回は、「パン作り教室」を開催し、パンが焼きあがるまでの時間を活用し、同様の交流会を予定しています。

子どもが帰ってくると、荷物を散らける。いつもきちんとしていたのに、どうしたらいいの？

子どもと一緒にゲームをして話題を作っている。

成長期で靴や服がすぐ着れなくなる。兄弟でも体格が違う。どうしてる？

太りやすいのは、「お母さんからの遺伝のせい」と言われる。

「遺伝以外はあなたのせい！」と答えたら。



〈参加された皆さんの感想〉

- ・みなさんの悩みや体験を聞いて、とても楽しかったです。
- ・交流会でいろいろな方とお話でき、勉強になりました。
- ・美味しいお土産といろいろな方のお話が聞いて良かったです。
- ・子どもどうしが同年の親さん、西濃県事務所の方との交流で、リアルな親からの話を聞いてもらえる場となって良かったと思います。



池田こども園 家庭教育学級 保育参観・開講式

体験活動参加型+講演会型
令和8年6月24日(水)
9:20~11:45
対象: 全保護者



毎年、開講式に保護者の学びの場を作っています。今回は、「スコーレ家庭教育振興協会」から子育てのお話でした。

木のぬくもりに包まれて♪

親子で楽しむあたたかな保育参観

木のぬくもりに包まれた池田こども園は、梅雨の季節らしく、アジサイやカタツムリ、カエルのかわいらしい掲示であふれていました。

保育参観では、親子のふれあい中心の活動が行われ、園庭では子どもたちの遊びに保護者も加わり、笑顔いっぱい時間が広がっていました。園の中心にある遊戯室では、おうちの方が高く上げた新聞紙やひもをキャッチしたり、丸めて投げたりと、体を使った遊びを楽しみました。その後は、みんなでテルテル坊主づくりにも挑戦。身近にある物でも、おうちの人と一緒に子どもにとって最高の遊びになることを、改めて感じるひとときでした。保育室では、親子でダンスをしたり、ひざの上で絵本を読んでもらったりと、ゆったりとした温かな時間が流れていました。



園にはたくさんの絵本がそろっており、家庭教育学級の一環として保護者による読み聞かせが年4回行われています。

- ① 子育ての基本: 安心できる中で自立を育てる
- ② 愛情の伝え方: ふれあい・笑顔・言葉で伝える
- ③ 共感: まず気持ちを受け止める
- ④ 親の関わり方: よく聞き、親が変わる
- ⑤ イヤイヤ期・反抗期: 成長の証として受け止める
- ⑥ 失敗への対応: 叱るより安心させる
- ⑦ 長所を伝える: ほめて自信につなげる
- ⑧ まとめ: 愛情と共感の積み重ねが大切



揖斐川町子育て支援センター 揖斐高生と遊ぼう！

令和8年6月26日（金）
10:30～11:30
対象：申し込み親子



揖斐高生が学校
で作ってきたおも
ちゃやペンダント

高校生が講師に 地域で育む親子のふれあい

各市町の子育て支援センターでは、乳幼児の親子を対象としたさまざまなイベントを開催しており、センター職員だけでなく、外部から招いた講師が指導を行うこともあります。

揖斐川町子育て支援センターでは、このほど揖斐高校保育コースの生徒10人が講師を務めました。揖斐高校では、造形や音楽、言語表現など、これまで学んできたことを実際の場で生かす「課題研究」の授業があります。そのためには、乳幼児やその保護者と直接ふれ合う機会が欠かせません。そこで、学校と子育て支援センターが連携し、このような活動を続け、今年で5年目を迎えました。

高校生にとっては、子どもたちの反応や保護者の率直な声を直接聞くことができる貴重な学びの場です。また、保護者には親子でふれ合う機会となり、子どもたちにとっても多くの人と関わる経験となっています。なかには、2年生の時に参加した高校生のことを覚えている子どももいました。

こうした交流を通して保育の仕事に魅力を感じた生徒が、将来保育関係の仕事で活躍してくれることを期待したいものです。



垂井町立みやしろこども園

家庭教育学級

ハグ週間

令和8年6月15日（月）～21（日）

対象：全保護者

「話そう！語ろう！わが家の約束」運動



ハグで広がる、とびきりの笑顔の時間

- 毎日、保育園から帰ってくると、1人ずつ、「おかえりー！」とハグする習慣の我が家ですが、ハグ週間のおかげで、いつも以上に抱きしめたり、抱っこする時間が増えたと思います。
- ハグをするととてもニコニコして、たくさんの笑顔を見ることができました。これからも「できたこと」「がんばったこと」「かわいいところ」等をたくさん伝えて、ハグしたいです。
- 「おはよう」「おやすみ」のハグや、何かできた時のハグなど、いろいろな場面でハグをしています。喜んで飛びついてくれます。
- 褒めた時、しかった後の仲直りのハグ。した後は、子どもも私達も笑顔になっていました。ずっと続けていこうと思います。

「ぎゅーしよ♡」でぐっと縮まる親子の距離

- いつもは、本人からハグしてくれますが、「ハグしよー」と伝えるととても嬉しそうに飛びこんでくれました。
- ママとは普段からよくしていますが、パパとは遊ぶものの、ハグは少なかったのが良い機会になったと思います。
- ママー!!ぎゅーしよ♡♡と言ってハグしてくるのでかわいかったです😊



季節感あふれる保護者会作
成の実践カード。
子どもたちも色塗りを楽し
んだそうです。

ハグで整う、親のこころと子どもの安心感

- 子どもにイライラしてしまうことがあっても、ハグをすることで、気持ちが穏やかになり、気持ちを切り替えることができます。
- ハグ週間を通して意識的に子どもとスキンシップをとることができました。子どもからも甘えて寄ってくるが増え、うれしく感じました。ハグをすると子どもだけでなく親の心も温かくなり、親子の絆を改めて感じる良い機会となりました。

ハグがくれる、がんばる力と安心の切り替え

- 朝登園した時、ハグをすると安心するのか、気持ちを切り替えてお部屋に入っていく姿を見ると、私も安心します。そして、今日1日を頑張ろうと仕事へ向かうことができます。
- 「だいすき、ぎゅー」とすると、娘も少し照れた顔で笑って「ぎゅー」と言ってくれます。忙しくバタバタする毎日の中で、ハグとして大好きと伝える時間をこれからも大切にしていきたいです。

ぼくは、転がす
より、投げる方が
とくだよ！